

項目別評価結果・評価コメント

事業者名：社会福祉法人千草会 花の井保育園

評価基準		評点	コメント
保育所	項目番号		
- 1 子どもの発達援助			
- 1 - (1) 発達援助の基本			
- 1 - (1) - 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	1	A	保育の基本方針にもとづいた、保育計画が作成されている。年度始めの個々の面談や日々の変化を的確にとらえ、子どもだけでなく、一時保育や休日保育の支援など、保護者や地域の意向を踏まえた援助が行われている。
- 1 - (1) - 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	2	A	その時に応じた話し合いや毎月会議を行うことで、問題点や達成度を確認し合い、その後の対応や翌月の計画に結びつけていくための、見直しがしっかりと行われている。
- 1 - (2) 健康管理・食事			
- 1 - (2) - 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	3	B	登園時、子どもの健康状態に変化がある場合は、指定のノートに書き込み、保育中は担任が変化を見落とさないように心掛けるなど、基本的なことは口頭で、伝達されているが、マニュアルなどは特になく、緊急時や管理者不在の時など不安が残る。今後、確認の意味でも、職員全員で使用しやすいマニュアルづくりに取り組んで欲しい。
- 1 - (2) - 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	4	A	定期的に健診が行われており、保護者にも個々の結果をきちんと伝え、その後の受診に繋げている。また、「ももぐみだより」などの中にも明記することで、保育園と保護者が情報を共有し、保育に反映させている。
- 1 - (2) - 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	5	B	保育園は集団生活の場であり、年齢層も低いため、感染症に関しては十分に配慮されているが、特にマニュアルの作成は行われていない。発生時の子ども・保護者・保育士などの安全、広がりへの防止など、漏れのないマニュアルを作成する事で安全への周知を図って欲しい。
- 1 - (2) - 食事を楽しむことができる工夫をしている。	6	A	「食育」についても重きをおいており、子ども達による野菜の栽培や料理の下ごしらえの手伝いなど、状況に合わせた対応が行われ、興味を持って食事を楽しむ環境づくりがなされている。
- 1 - (2) - 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	7	B	年齢や状況にあった対応はされているが、特に食事の介助、支援方法に関するマニュアルは作成されていない。今後、基本的なマニュアルを作成し、安全で楽しい食事の工夫に繋げて欲しい。
- 1 - (2) - 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	8	B	献立には栄養価などの明記がされており、わかりやすいものになっているが、形状・量などがわかりにくい、子どもの園での食生活を知り、家庭での食事づくりの参考に出来るよう、今後はサンプル展示や写真を掲示するなどの検討をして欲しい。

評価基準		評点	コメント
- 1 - (2) - アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	9	A	アレルギーのある子どもに関しては、除去する食材が何なのか、家庭や医師などと連携をとり、適切な対応をしている。給食室では、「どの子が何」とわかるように掲示し、代替食に関しても、他の子ども達との相違に配慮している。
- 1 -(3) 保育環境			
- 1 - (3) - 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	10	A	日当たりの良い環境にあり、換気も充分であり、トイレや洗い場も整備されている。また、遊具の定期点検など安全の為の対応もきちんと行われており、子ども達が心地良く過ごせる環境づくりがされている。
- 1 - (3) - 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	11	A	子ども達が落ち着いて過ごせる室内や雰囲気づくりがされ、ランチルームやホールなど、園庭やクラス以外にも過ごせる場所があり、子ども達の生活に合った環境が工夫されている。
- 1 -(4) 保育内容			
- 1 - (4) - 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	12	A	職員が穏やかに対応しており、子どもを抱きしめていたり、楽しく手を繋いでいる姿が見られ、子どもの心を受け止めることの大切さを理解している。
- 1 - (4) - 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	13	A	リーダー会議などを利用し、子どもの個々の情報を共有し、声の掛け方や時間帯など、一人ひとりが嫌がらずに行動できるように、成長に合わせた取り組みがされている。
- 1 - (4) - 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	14	A	一人でいたり、みんなと一緒に行動したり、興味のあることを選択できる配慮がなされ、ニコニコ自発的に活動できる環境が整備されている。
- 1 - (4) - 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	15	A	近くの公園まで散歩に行ったり、落ち葉や木の実拾いなど自然に親しむ場は多くあり、地域の方々との交流も大切にされている。年長児になると東京の劇場まで電車で出かけ観覧するなどの、多様な取り組みも行われている。
- 1 - (4) - 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	16	A	ルールの大切さや、それぞれの年齢にあった支援を職員は、充分に配慮しながら行っている。異年齢の交流の場も多く持ち、年齢差のある集団を活かした、保育がなされている。
- 1 - (4) - 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	17	A	子どもの人権への配慮や互いを尊重する心を育てるための具体的な取り組みを行っており、今後も取り組みを進めてほしい。
- 1 - (4) - 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	18	A	職員間でも理解しており、過敏にならない様にしながらも、個々をしっかりと見ながら、生活の場である保育が行われている。

評価基準		評点	コメント
- 1 - (4) - 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	19	A	乳児に関しては担当制で保育をし、日々、丁寧なかかわりに心がけている。また、成長の差が大きい時期でもあるので、それぞれのリズムも大切にしている。乳児に起こる、S I D Sに関しては、睡眠時15分毎のチェックを行う事で、安全を規している。
- 1 - (4) - 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	20	B	長時間保育のため異年齢との関わりがあり、日中を含めた交流を行う事で、子ども同士が遊べるように配慮し、休息の環境もある。しかし、軽食などに関しては明記されておらず、保護者が夕食の対応をしやすい配慮などを今後検討して欲しい。
- 1 - (4) - 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	21	A	建物はバリアフリーになっている。現在、障害児の在籍はないが、過去には受け入れた経緯もあり、今後必要に応じた受け入れに対し適切な対応を期待したい。
- 2 子育て支援			
- 2 - (1) 入所児童の保護者の育児支援			
- 2 - (1) - 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	22	A	家庭訪問を含め、定期的な個別面談も行っており、子育ての相談などにも積極的に取り組んでいる。
- 2 - (1) - 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	23	A	児童票等の記録、日々の情報は個別ノートなどを利用しながら、漏れのないように対応している。
- 2 - (1) - 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	24	A	必要時には、随時対応し、毎年11月に、一日保育参加を行い、併せて個人面接を行う事で保護者との共通理解を得ている。
- 2 - (1) - 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	25	B	虐待について、関係機関との連携を図っているが、マニュアルは整備されていない。今後、問題を抱える子どもが早期に発見され、安全に対応がなされるよう、マニュアルの整備とマニュアルにもとづく職員研修を行って欲しい。
- 2 - (1) - 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	26	A	機関の連絡先が事務所に明記されており、通告が行える体制が出来ている。
- 2 - (2) 一時保育			
- 2 - (2) - 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	27	B	一時保育を行っているが、一般定員が増え一時保育室も利用しているため、独立した部屋にはなっていない。しかし、一時保育の子ども達が通常保育の同年齢のクラスで過ごす事で、多くの子ども達と交流が増えている。